

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1年生では、MIMを活用した指導を行うことにより、読み・書きの基礎が定着した。
- ・児童の実態に合わせたワークシート等を活用したことにより、文章を書く意欲が高まった。
- ・読み聞かせや読書月間、ビブリオバトルを実施したことにより、朝読書や図書の時間だけではなく、本を読む児童が増えた。

(2) 課題

- ・大田区学習効果測定の結果、多くの観点において目標値を下回っている。各学年とも、基礎的・基本的な内容の理解が十分ではない。文章を書く意欲はあるが、文章を構成することや自分の考えを分かりやすく書くことにはまだ課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） △目標値を上回っている ▼目標値を下回っている

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的に取り組む態度 ▼		
第5学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的に取り組む態度 ▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的に取り組む態度 ▼	
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的に取り組む態度 ▼	(第5学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的に取り組む態度 ▼	(第4学年時) 知識・技能 ▼ 思考・判断・表現 ▼ 主体的に取り組む態度 ▼

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・漢字の読み書きやローマ字の読みに関しては、目標値を大幅に下回っており、配当漢字やローマ字の理解が十分ではない。 ・漢字のへんやつくりは目標値と同等である。	・物語に関しては、登場人物の様子や気持ちについて叙述を基に捉えることができている。 ・説明文に関しては、内容を読み取ることや要約することが十分ではない。 ・書くことに関しては、段落や文章の構成を理解して書くこと、理由を明確にして自分の考えを書くことが十分ではない。	・記述の問題について、未記入の児童が3割程度である。質問に対して回答できる児童とできない児童のどちらかである。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 漢字の読みに関しては、目標値を上回っているが、書きに関しては下回っている。 - 言葉の学習については目標値を上回っている項目もあるが、敬語や漢字の由来、修飾語についての理解が十分ではない。	- 物語の読み取りに関しては、目標値と同等であるが、説明文の読み取りや段落相互の関係、要約については、目標値を下回っている。 - 目的に応じて文章を書くことや自分の考えを明確にして書くことが難しい。	- 記述の問題において無記入の児童は2～3割程度であるが、条件通り解答できている児童は少ない。 - 自分の考えを書こうとする意欲はあるが、理由に基づいて文章を書くことや構成を考えて書くことが難しい。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- MIMを活用し、拗音・促音・長音など、読み・書きの基礎力定着を図る。 - 学期に1単元は書くことの指導を重点的に指導する。 - 家庭学習や東っ子タイムを活用し、平仮名、片仮名、漢字の定着を図る。 - 文章を書く活動を通して、「て に を は」や主語述語を正しく使えるよう、教師が繰り返し添削指導を行う。	- 話型を提示し、毎日日直が短いスピーチをする時間を設け、話す力を高める。 - 日記を書く機会を毎日または毎週末に設け、書く力を高める。 - 読み聞かせや図書の時間を有効活用し、読書を推進することで、読解力の基礎を養う。	- 文字の学習に丁寧に取り組む児童の姿勢を褒めることで、書くことへの意欲を高める。 - 友達の考えや作品のよいところを見付けている児童を褒め、他者から学ぶ姿勢を養う。 - 児童の発言や書いた文章を、積極的に褒め、自らの考えを表現しようとする姿勢を養う。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 読む活動を多く設定し、漢字に触れる機会を増やす。 - 学年に応じた読書をして、読書の時間を充実させ、語彙を増やす。 - 東っ子タイム（朝学習）を活用し、該当学年の漢字の読み書きの定着を図る。 - 国語やOGCの時間を活用し、読み書きの活動を多く取り入れることにより、アルファベットやローマ字表記の定着を図る。	授業内や東っ子タイムを活用し、説明文の文章構成を使って文章を書いたり、要約してまとめたりする活動を取り入れる。	テストの形式に慣れさせるために事前に練習問題に取組ませる。また、文章が読めるようにルビ付きのテストを用いる等の手立てをとる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・東っ子タイム（朝学習）を活用し、該当学年の漢字の読み書きの定着を図る。 ・辞書を引く場面を学習の中で数多く設け、語彙力を高める。	・物語文や説明文の中で、読み取りに必要な語句や文に線を引かせて大事な部分を意識させていく。 ・タブレットやノートなどを用い、友達の意見として自分の意見に追記できるようにする。	・自分自身で文章構成を組み立て、意欲的に活動することができるよう、文章の型を提示する。